

# 東北日日新聞

本報創刊三十周年紀念  
年報五冊  
中報三冊  
休刊日  
石城郡平町白根  
日新報社  
電話六三三

## 社説

平町のこの頃は凡て花見気分である。  
此處も、彼方も浮いたういたの花見気分である。  
松ヶ丘の櫻を中心として、いろ／＼の開催があつた。縣下消防大會がその雄なることに於て第一位におかるべきである。

うな騒ぎである。  
浮き／＼した歡樂の甘い夢のやうな日の續きであることは、短かいところには味がある。  
然し、永いことそうである、飽食のあとのやうな休養を欲するものである。

来る十日に開催さる、石城郡醫師會が幹事役としての縣下醫師大會は、一服の清涼劑である。警中講堂に數時間の學術講演がある。  
學究者、學徒等が權威ある言葉が聞かれるのであるが、平町民諸君が満喫

してゐる歡樂のあつたの最も善き意味での催しである。  
世界的に名聲ある日本醫學界の學究的講演を聞かせることは、誠に喜ばしきことである。  
醫師會は繁雜をいとうことなく、一般聴衆にも公開すべきであらう。  
それは意義あることであり、開催地としての使命でもあらう。

出来上つたので十七、十八日は立派な思ひつきである。例祭を好機として青年團と一般から好評を博され、山花車に結載して奉納してゐる。因みに同燈籠には製作品々評會は十七日から二十一日まで五日間平町元商業學校に於て開催するが、タンス戸棚火鉢本箱茶ダンス食卓その他多數あり即賣もする。

平町上水道擴張工事の起債一先づ歸町小學校落成式は四年度中は空宣傳に終り始め縣下組頭大會等種々多途に認可を見るに至らな忙な事務を終つて今十六日つたので町當局も反對者の再上京の筈であるが今後大あるだけに幾分焦立ち氣味なる支障なき限り五月上旬で三月末以來遠藤助役はしに完全に内務省の手を離すべく、内務省に出頭殆んどして大藏省に廻附さる、事務詰り切り促進を迫りつゝとなるので五月中旬かおそくあつた結果この程大体におも六月初めには認可あるもいて事務的方面の調査は一のと觀られてゐる。

再度出京して  
最後のそく進陳情  
水道起債で遠藤助役が遅くも六月迄には認可か

平町を視察  
管内組頭と共に  
沼津署長等  
平町に  
またチブス  
直ちに隔離さる  
平町古鍛冶町鈴木ウヱ(三六)は病氣の處十五日午後六時診斷の結果チブス決定直ちに隔離病舎に收容された

肉彈大佐  
今月下旬來平  
肉彈大佐櫻井忠温氏は昨年十一月平町青年團の懇請によつて來平の豫定であつたが大佐の都合で延期されてゐたところいよいよ今月下旬同青年團の春季總會當日特に臨席講演を催すこととなつた

## 交渉委員が強く出た爲 橋本氏漸く買収に應ず 例の第三小學校道路問題 近く委員會を開き買収方法を協議

小柳知事、歌川警察部長等の出席は、いやが上にも活氣をあげた。中盤グラウンド、劍光帽影が春光に漂ふところ、四千餘名の消防組合が分列式を舉行して、時ならぬ大壯觀を呈した。

例の平町第三小學校通學道橋本氏の態度は軟化して平定刻小柳知事並びに歌川警署問題に就て去る十四日郡町が最初に出した買収價格案市におもむき橋本萬右衛門に應ずる事となつた云ふ頭にて一丁目から順次五丁目迄最後の交渉を試みたがこれにより平町では近く高橋龜松、吉田五平の兩氏委員會を開き買収方法を協議する筈でこれが爲下で各組の分列を檢閲午後は十五日夜歸町したが同氏他を協議する筈でこれが爲下で各組の分列を檢閲午後

見は最後のものだけに交を見るに至つた  
渉は極めて強固に出た爲め

廉の授與をなして同三時歌川部長から講評あり散會されより公園の園遊會に移つたが頗る盛會であつた

去年に比し一頭  
三割強の大暴落  
生産者は益々減じて行き  
結局石城の駒セリは廢止か  
々減じられて居り又總ての方面においても生産を購諾してゐた

石城産馬組合の春季駒セリは十四日全部(田人、澤渡、上遠野)終了した今回の出場馬数は六百二十三頭で、然るに今回は大正十年以來の價格三万一千二百二十四の不況を告げるに至つたの圓に達したが、一頭平均して生産者はことごとく悲觀ると昨年より三割強の暴落し秋季駒セリを見合せる者振りでタツタ五十四圓にしまでも續出するらしく見られてゐるが何れにしても今

平町建具指物業組台徒弟製作品展覽會  
平町建具指物業組台徒弟製作品展覽會は十七日から二十一日まで五日間平町元商業學校に於て開催するが、タンス戸棚火鉢本箱茶ダンス食卓その他多數あり即賣もする。

平保線工事  
無慘の轍死  
今朝城山下踏切で  
石城郡内郷村泉村當時平驛鐵道官舎居住平保線區保線工手小關福太郎(三四)は十三日午前九時頃行つたが六日午前九時半頃平驛城山下踏切で三百二十號列車にぶれ兩足を轍断された上ので近く第二次入札に附頭部を強打して無慘に即死する筈

平町に  
またチブス  
直ちに隔離さる  
平町古鍛冶町鈴木ウヱ(三六)は病氣の處十五日午後六時診斷の結果チブス決定直ちに隔離病舎に收容された

## 恵れた今日の 聯合消防檢閲

鳴物入りのかん／＼どかどか騒ぎが、狂氣のやうにおほり立つてゐる。  
入る、出る、寝る、起きる人間の意志と感情とはごち／＼に交錯してゐる。  
樂隊づきでお産をするや

平署管内四十八ヶ村聯合に續いて元警中グラウンドで消防檢閲は既報の如く十六日執行されたが此の日夜來の日午前八時から本通りに整雨もカラリと晴れ渡り全くと列した二千餘名の服装點檢

午後三時つ、がなく終了

四丁目青年團  
釣燈籠奉獻  
縣社子鐵倉神社へ  
平町四丁目青年團では縣社子鐵倉神社神慶新築記念に釣燈籠を奉獻すべく決議して七丁目工藤鑄鐵製作所に於て謹製中のところ此の程

石城地方の駒セリは春秋共に年々不成績で一頭平均價格も下落を辿つて來たそれがため生産者は年々減じて居り又總ての方面においても生産を購諾してゐた

石城地方の駒セリは春秋共に年々不成績で一頭平均價格も下落を辿つて來たそれがため生産者は年々減じて居り又總ての方面においても生産を購諾してゐた

平町を視察  
管内組頭と共に  
沼津署長等  
平町に  
またチブス  
直ちに隔離さる  
平町古鍛冶町鈴木ウヱ(三六)は病氣の處十五日午後六時診斷の結果チブス決定直ちに隔離病舎に收容された

徒弟の  
製作品展覽會  
平町建具指物業組台徒弟製作品展覽會は十七日から二十一日まで五日間平町元商業學校に於て開催するが、タンス戸棚火鉢本箱茶ダンス食卓その他多數あり即賣もする。

肉彈大佐  
今月下旬來平  
肉彈大佐櫻井忠温氏は昨年十一月平町青年團の懇請によつて來平の豫定であつたが大佐の都合で延期されてゐたところいよいよ今月下旬同青年團の春季總會當日特に臨席講演を催すこととなつた

東北日日新聞社  
昭和五年四月十五日  
敬具

世は三行の春

花は松ヶ岡

花の松ヶ岡を一眼に見渡す公園向ひ良善寺  
下に(初音、三益)合同賣店を設けました  
座席無料 お一人様より  
百五十人様迄  
演舞場 も設けてあります  
とくに団体は前日電話にて願ひます  
花見折詰洋食日本酒  
ユニオンビール、サイダー 特價  
松ヶ岡公園向良善寺下

初音

三益 合同賣店  
電 二二六  
電 三三一

回特賣

たひら正宗

花春

福島縣清酒品評會  
一等賞受領

同優等賞受領

塩屋最上醬油醸造元

山崎合名會社

平町土橋 電話一〇番二七番  
東京上野車坂四三  
東京支店  
電話下谷五七二二番

外科一般 (入院隨意)

内臓外科専門

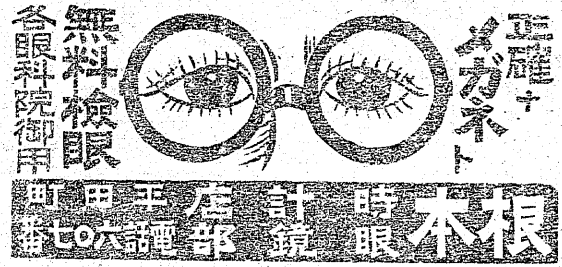
花柳病科

平町六丁目(橋際)

木村科醫院

電話三〇九番

御入學進級の記念に



大特賣  
粗景進呈

新學期!!!

學生靴大賣出し

自製靴...お買ひ上げに粗品呈上  
無駄な宣傳や手数を省き  
絶対責任...誠實廉賣!

弊店の特色  
一、原新精選たる堅牢無比  
二、特別なる製法と卓越せる型  
三、御名前が記入下さいます様考案  
四、靴一代底金ウチ替代金無料

實物のう試足によりて眞價を求められよ!

平町 大塚支店 製靴部へ  
電話七〇二番

職工募集

一、家具指物職人 五名  
但し相當経験ヲ有シ永勤出來得ル者詳細面談ス  
平町三丁目

丸はん家具店

電話三五九番

申込所

平町新田前

丸はん家具製作所

電話七二三番

初夏サロンの新装

四月拾日ヨリ

樽詰生ビール並ニタンク入ソーダ  
氷の用意が出来ました  
ソーダファンテン設備完成  
カップ一杯 十五錢  
ジョッキ一杯 五十錢

ドーゾ散歩がてらに御来店を

田町松月隣り

男女給仕八數名募集

電三五二番

アイギョ

レンコート  
セヒロ三ツ組  
サイジ通學服  
トシビモチリ  
ゴム引マント

正札堂

平町停車場通り  
電話四三六番

貸切自動車の御用命は

昭和タクシーへ

只今高級車クラハムベーチ新型セ  
タンが入車致しました是非御試乗  
下さい

平驛前

昭和タクシー

電話は 三四三番

毎度有難う

觀櫻會の御團子は

名代だんご 染野餅菓子店  
平町新田町三益隣り  
電話(呼出)三〇四

現代醫藥界ノ驚異

飲マズニ治ルヨリサ浸透療法  
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥  
外用コリサ

論より證據百聞一見に不知  
醫學博士...内野先生實驗 醫師...吉松先生發見  
定價 金四拾五錢、金九拾錢 送料(内地十二錢  
一特大瓶醫家用...二圓七十錢 海外四五錢

平町一丁目

特約店 大平屋藥舖

電話六四二番

回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込られ  
試用藥と浸透療法の小冊子を郵送す  
大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫院製劑部

春!!花!

この季節こそ最も寫眞  
のよくなる時です

大野寫真館

何時でも出張撮影  
に應じます

漆器の御用命は

是非 和久井屋へ...

電話四〇五